

新産業の器をつくる長崎県波佐見町

新工業用地を

分譲開始

長崎県中部に位置する波佐見町は、古く新しい「モノづくり」の町だ。海洋県である長崎で唯一、海に面しておらず、四方を山に囲まれた盆地に約1万5000人が暮らしている。これまで産業は400年間の歴史を持ち、波佐見焼に代表される窯業が支えてきた。だが近年は大手精密機器メーカーが立地、さらに2013年4月には新たな工業用地の分譲を始めた。また地域資源を生かした観光など、新たな産業による地域活性化を積極的に進めている。



波佐見町営工業団地

窯業で長い歴史を持つ波佐見町は、同時に新たな産業立地に積極的だ。13年4月に面積2・99haの「波佐見町営工業団地」の分譲を開始。電子機器や自動車関連、食品など全国から幅広い業種の立地を待っている。近隣には長崎キヤノンが10年進出し、デジタルカメラの生産拠点として稼働している。

同工業団地のメリットは、リスク分散と交通利便性だ。長崎は地震の少ない産業立地に適した地域だ。全国的に災害リスクが課題となっている中、地震や津波によるリスクを分散させる適地となる。また高速自動車道のインターチェンジが15分圏内に2カ所ある。このため車で、九州の陸上交通の結節点・佐賀県鳥栖市まで約50分、九州最大都市の福岡市まで約90分。

伊万里港は約35分、博多港は約1時間半の距離だ。東京、大阪はじめ上海、ソウル便が飛ぶ長崎空港は約40分で着く。このほか隣接する県内2つの都市・佐世保市には、佐世保工業の造船所をはじめ製造業者が産業基盤を築いている。また佐世保工業高等学校や専門校、工業高校など人材を近隣で確保できる。

企業立地に対しては町独自制度として、固定資産税3年課税免除や上限1000万円の雇用奨励金を用意している。町内の空き工場に対しても、上限500万円の奨励金を交付するなど、企業規模に応じた進出環境を整えている。さらに長崎県による限度額30億円の各種補助を組み合わせることも可能だ。

400年続く

伝統の磁器産業

波佐見町のモノづくりの歴史は古い。1600年ごろに発祥した日本最古の産物の一つとして、磁器を国内外に出荷してきた。江戸時代には庶民向け食器「くわわんか碗(わん)」として国内各地で使われたほか、しよゆや酒の輸出容器「コブラ瓶」として生産された。分業による大量生産システムが古く構築された。

波佐見焼の特徴は、白磁と具用(藍色の顔料)による絵付けのシンプルで洗練されたデザイン。生活に根ざした実用性を追求したデザインは、同時期に発祥した隣町の佐賀・有田焼と異なり、高級磁器として扱われるのと対照的だ。

自然豊かで都市に近接

定住促進に奨励金

生活の場として住民を根付かせる取り組みも始まった。12年度から波佐見町では、最大50万円分の「定住奨励金」を支給を開始。町内は2カ所の病院のほか各種診療所が整い、公立の小中学校と高校がある。幼稚園と保育園が7カ所あり、子育て世代の家族にも対応。また自然に囲まれた静かな環境は、リタイア後に住む地としても魅力がある。

隣接する佐世保市の中心部には車で約40分で行けるため、都市的な生活環境も備える。以前から同市の「ドタウン」としての位置付けもあり、自然と都市を共有する場所だ。奨励金は町内の建築業者が施工して家を新築した場合、現金40万円と商品券10万円を支給。建売住宅の購入時は現金20万円と商品券5万円となる。このほか町外業者による建築物件や中古住宅購入も支給対象。さらに転入や転居は1世帯10万円を支給。加えて中学生の子も持つ世帯には、最大3人分15万円の現金が支給される。

陶芸、農業…

体験型観光が

人気

波佐見は地域資源を生かした観光地として魅力が向上している。「来なっせ(お越しください)」100万人を掲げて施設やソフトを充実。観光客数は毎年伸びており、12年度は過去最高の約80万人が訪れた。

特に人気があるのは体験プラン。なかでも「酒の田植えと刈り取り、新酒の試飲」が年々3回訪れて体験。酒造り3回がセットになっており、新酒は自分でつくった器で味わえる。このほか作陶や絵付けといった本格的な陶芸体験から、ストロップづくりなど手軽なものまであり、石窯を使う焼きたてピザやパンを食べられる体験も人気だ。シイタケやナシなど季節ごとの収穫や調理体験も行う。観光スポットでは昔ながらの窯元が多残る中尾山の街並み。



中尾山の街並み



波佐見焼は機能美が特徴



波佐見町長 一瀬政太氏に聞く

長崎県波佐見町は400年の歴史と伝統を誇る「モノづくり」の産地であり、「ものづくり」のDNAが息づく町である。町の活性化を図るため、「企業誘致」「地場産業の雇用が創出されている。また本町が整備した「波佐見町営工業団地」は、13年4月から分譲を始め、

現在積極的な企業誘致に取り組んでいる。地場産業の振興では伝統ある陶磁器産業の活性化を図るために、長崎県・地元企業団体との協働により「はさみ焼」のブランド化や情報発信に努め、あふれる観光資源を生かした体験メニューや、陶器まつりなどのイベントの開催などにより、県内外

企業誘致は最重要施策

から年間約80万人の観光客の皆さまにお越しください。本町は高速道路のインターチェンジが近く、北部九州へのアクセスが良好であり、地震・津波のリスクが少なく、ビジネスに最適な場所と自負している。町独自の優遇制度も準備している。ぜひ自然豊かな波佐見町へ進出いただきたい。



本格陶芸など体験プランが楽しめる

自然の風景なら鬼木の棚田だ。日本選ばれた田園は四季折々の風景を楽しませてくれる。また体験や街歩きで疲れたら、町内の温泉が癒やしてくれる。波佐見町は人の手が入り過ぎない適度な観光地として魅力がある。それは波佐見焼の機能美に通じるような心地よさだ。企業に移住者、観光客と目撃は異なるが、波佐見は幅広く来訪者を受け入れる器を備えている。

『ものづくり』のDNAが息づく町 長崎県波佐見町

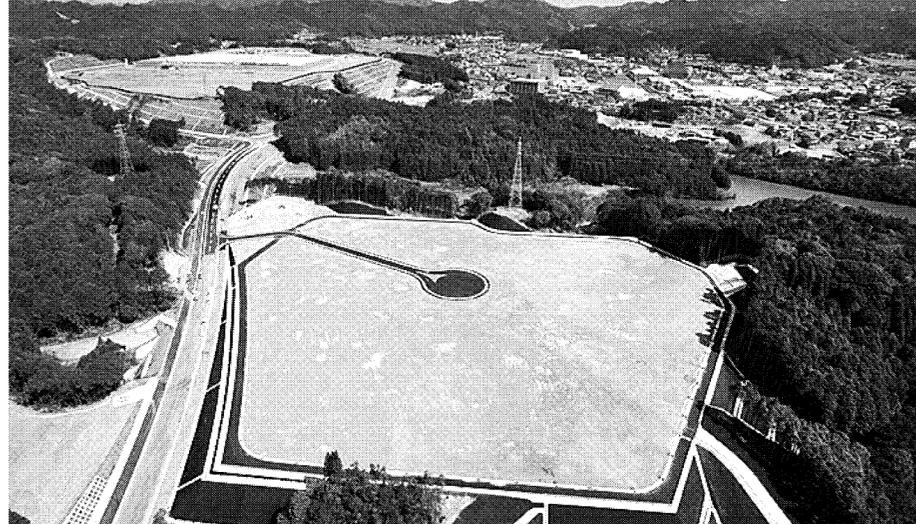
波佐見町営工業団地 絶賛分譲中

■恵まれた立地環境
『波佐見町営工業団地4つのポイント!』

- 1. 災害に強い安全性**
内陸型の工業団地で塩害がなく、震災・津波への高い安全性を確保
- 2. 優れた交通アクセス**
高速道路まで3分。北部九州へのアクセスに最適
- 3. 優秀で豊富な人材**
通勤圏内に優秀な人材を輩出する工業系高等学校等多数立地
- 4. 恵まれた住環境**
緑豊かで生活インフラが整った快適な住環境

■用地概要

分譲面積	分譲価格
28,596㎡	13,000円/㎡~15,000円/㎡



◆波佐見町から空・港までの時間

長崎空港	約 40分
福岡空港	約 80分
佐世保港	約 20分
伊万里港	約 35分
博多港	約 85分

◆波佐見町から九州各地までの時間
(※高速道路使用時)

長崎市	約 60分
福岡市	約 90分
鳥栖市	約 50分
大分市	約 150分
熊本市	約 120分

■優遇制度 ○固定資産税免除 ○雇用奨励金 ○空き工場等利活用奨励金